

ひとりのために・みんなのために

**渡辺よしお****新発田市議 NEWS****Vol. 17** 2011年10月号**本会議、一般質問で市長  
に介護施設と保険料負担  
公共交通の方針を聞く!!****特別養護老人ホームの待機者の  
現状と今後の推移は**

平成23年2月の調査で特別養護老人ホームの待機者は613名となっています。今後も増加傾向が続く事から、待機者の解消に向け計画的に施設整備に取り組む。

**介護保険料が全国平均より  
新発田市は低い、その理由は**

市の政策として、長年、市民への健康、予防医療の推進と認知症や介護予防に事業展開して来た。介護を必要としない、高齢者、市民が多く介護給付の抑制に繋がっている

**バス路線の不採算性と補助金  
交付のあり方を問う**

高齢化率25%を超える現状からバス運行を止める事は難しい。高校生の通学、障がいを持つ方の支援にも繋がっている。

**シングル介護、老老介護の実  
態と介護家族の支援強化策は**

シングル介護については把握していない。介護が必要な在宅の高齢者の約4割が65歳以上の高齢者の介護を受けている。地域包括支援センターより実態把握と介護利用を支援

**今後、介護保険料の上昇に市  
の対応策は**

認定者の増加や施設整備の影響などで保険料の上昇は避けられない。保険料段階の細分化や介護給付費準備基金の取り崩しも視野に保険料上昇の抑制に努めたい。

**公共交通空白区の解消に向け  
た取り組みは**

地域ごとに公共交通体制の見直しを進めている。市街地循環バスや学校統廃合に合わせたバスの運行等利便性向上に努めたい。

**第5期介護保険事業計画(平  
成24年から)施設整備計画は**

住み慣れた地域での介護サービスや生活支援サービスなど切れ目ないサービスを受ける事が出来る体制づくりと、居宅介護サービスの充実特老などの施設整備も進めたい。

**介護保険料の軽減に財政安  
定化基金があるが、活用する**

新潟県の介護保険財政安定化基金は新潟市の方で活用している現状がある。国、県、市町村それぞれ1/3づつ基金造成して来たものであるが今回、当市は使用できない。

**玄関先から乗れるデマンド方  
式の交通システムの考えはあ**

地域的な条件があり赤字路線バスの経費削減に繋がらないが、その有用性、費用対効果、タクシー事業者との競合や受益者負担を含め、慎重に検討を進めていきます。